

「Gerontology」の命名

1903年 パスツールの後継者であるロシアの学者メチニコフ(Metchinikoff)は

gerontology (老年学) } の2つの用語を
thanatology (死生学) } 生み出した

出典: Kastenbaum R : Gerontology. In : The Encyclopedia of Aging ,
Maddox GF et al(eds), Springer Publishing Company, 1987, P288-290

老年学とは何か

- 1 加齢変化の科学的研究
- 2 中高年の問題に関する科学的研究
- 3 人文学(Humanities)の見地からの研究
(歴史、哲学、宗教、文学など)
- 4 成人や高齢者に役立つ知識の応用
(Maddox et al eds: The Encyclopedia of Aging, 1991)
- 5 世代間問題の研究



～1960年代、老化は劣化である 老化の定義

1. 普遍性 すべての人に起こる
2. 固有性 出産・成長と同様に
3. 進行性 後戻りはしない
4. 有害性 能力も人格も悪くなる

(ストレーラー 1962)

1970年代～

- 1970年 デューク大学

「Normal Aging＝正常老化」

- 1970年 ボーヴォワール「老い」
- 1972年 東京都老人総合研究所(TMIG)設立
- 1974年 アメリカ国立老化研究所(NIA)設立

1980年代

- 1980年 フリーズの直角型の老化
- 1980年代全体に終末低下理論の発展
流動性能力＝動作性能力
結晶性能力＝言語性能力
- 1980年 シュロック:健康の偏差値モデル

現在の老年学の概念

1. サクセスフル・エイジング
-長寿・生活の質・社会貢献-
2. 生涯発達理論
-人格面 エリクソン マズロー-
-能力面 バルテスなど-
1. サードエイジ概念
～19歳 20-49歳 50歳～
2. ジェロトラセンデンス
-超越的老化-

1965年北海道大学医学部卒業。1966年東京大学医学部第四内科医員。1982年東京都老人総合研究所副参事研究員(1993年より同研究所副所長。現在名誉所員。) 2002年より桜美林大学大学院老年学教授(現在名誉教授・招聘教授。)日本応用老年学会理事長をはじめ、5つの学会の理事。2つの学会の評議委員。公益財団法人長寿科学振興財団理事。公益財団法人すこやか食生活協会理事。

